

# 議会運営委員会会議録

- 1 日 時 平成28年7月19日(火)  
会議時間 10時00分開会 11時44分閉会
- 2 会議場所 役場3階第1委員会室
- 3 出席議員 委員長 : 中島里司  
副委員長 : 安田 薫  
委 員 : 高橋政悦、奥秋康子、西山輝和  
議 長 : 加来良明
- 4 事務局 事務局長 : 佐藤秀美、係長 : 宇都宮学、主任 : 鶴田瑞恵
- 5 説明員
- 6 議 件  
(1) 議会だより第146号の発行について  
  
(2) 議会報告会と町民との意見交換会について  
  
(3) その他
- 7 会議内容 別紙のとおり

委員長：(中島里司) 皆さんおはようございます。すっきりとしない天気が続いているが、先日、御影で悪天候の中でも盛大に御影地区のビール祭りが行われた。まだまだ、わが町にはいろいろな面で期待できるものがあると感じた。今月末には清水でもあるようなので、議員として、町民として顔を出し、町民の動きを知るのも議会運営のために必要ではと感じた。ただいまから、議会運営委員会を開催する。

#### (1) 議会だより第146号の発行について

委員長：8月15日発行予定となっている。はじめに事務局から説明をお願いする。

鴫田主任：(議会だより第146号の掲載内容を説明)

委員長：内容等について、定例会や臨時会の関係を軸にした項目を列記してもらった。追加も含めて意見を求める。

(なしの声あり)

委員長：次回に向けて、この項目を軸に割り付けをしていく。ページ構成について、事務局より説明をお願いする。

鴫田主任：(ページ構成案を説明)

委員長：表紙について意見を伺う。

安田委員：総務文教常任委員会の道外研修は何年か振りなので、表紙を飾ってもいいのでは。

委員長：他に意見はあるか。

奥秋委員：議会活性化特別委員会がいいと思う。町民の関心があるものなので、これをメインにしてもいいのではないか。

西山委員：議会活性化特別委員会の方がいいと思う。

高橋委員：議会だよりなので表題は補正予算がメインになるのか。メインのものを先頭に持ってくるのいいのでは。特別委員会にしてもスタートしたばかりで結果もないし、総務文教常任委員会にしても1つの委員会を表紙にするのはどうかと思う。定例会があったので、補正予算でいいと思う。

委員長：道外研修については、高橋委員が言われたとおりの状況。活性化特別委員会については始まったばかりで載せるまでに至っていないのでは。どこまで進んでいるのか議長お願いする。

加来議長：委員長から話があったとおりの状況。これから、どういう点について協議していくかについてを皆で協議していく段階なので、設置しました程度の内容でいいと思う。

委員長：皆さんからいただいた意見からいけば、補正予算の産地パワーアップ事業になると思う。それでよろしいか。

(よろしいの声あり)

委員長：表紙は産地パワーアップ事業に決定する。表紙については、第2回定例会の関係、2ページから10ページまでは特に何かあるか。

(なしの声あり)

委員長：次回までに割り付けに添って事務局をお願いする。

次に、編集後記の担当についてだが、今回は安田副委員長をお願いする。期限は7月26日までに250字以内にまとめて事務局へ提出をお願いする。

議会だよりについて、その他に何かあるか。

(なしの声あり)

委員長：ないようなので、議会だより第146号の協議はこれで終わる。

#### (2) 議会報告会と町民との意見交換会について

委員長：議会報告会と町民との意見交換会で出された質疑、意見・提言等の中で議会運営委員会において調査・検討を行う項目について、調査検討を行い、その結果をまとめる。また、議長から依頼があった事項及び全員協議会での反省・総括における意見を踏まえ、今後の開催に向けた議会運営委員会の協議について議題とし、どこまで検討していけるかを諮っていく。

事務局でまとめた資料が配付されている。1枚目は、議長からの依頼のあった事項と「議会報告会

と町民との意見交換会」についての全員協議会での反省・総括における意見が6項目出ているので一読願う。合わせて2枚目の「議会報告会と町民との意見交換会」の際に町民から出た質疑、意見・提言等の調査・検討ということで議会運営委員会の所管になる1・15・22・24・25・37・38番を示している。これも合わせて一読願う。

当委員会として、これらについてどのように協議を進めるかを諮る。まとめは11月までなのでどう協議日程を組むか。

安田委員：総務・産業委員会と足並みをそろえなければならぬと思うが、その辺はどうか。

委員長：他の委員会を意識していない。議運のペースで協議すればいいと思う。それでよろしいか。

(よろしいの声あり)

委員長：どちらの資料から検討するか。

佐藤局長：「議会報告会と町民との意見交換会」の際に町民から出た質疑、意見・提言等についての調査・検討から願う。

委員長：事務局長から助言があったので、今日は横書きの方から1つずつ進めていく。

1番、「議会報告は簡潔に要約ということだが、ここで資料を出されても、短い時間では何を質問していいかわからない」、答弁としては「昨年から要約して説明している。今後もわかりやすくなるよう検討し努力していく」ということだが、これについて意見を伺う。

安田委員：議会を常に見ている人と初めて来た人の差でこうなったのでは。議長が答弁しているように毎年よくなっていると思う。

委員長：昨年は長いと言われた。今年は要約しすぎると言われた。1番と15番は昨年と正反対の意見なので、1番について、当委員会では議長が答弁したとおりということでもよろしいか。

(よろしいの声あり)

委員長：15番、「議会報告会は、なぜ2つに分担してやるのか。13人全員そろって町民の意見を聞くことはできないのか」に対して、「議員の意見を親しく言えるような報告会・意見交換会の場とするために分担運営の方式とした」という答弁である。多くの議員が発言する機会をつくることできるという考え方で、前年度の反省を踏まえて変えた部分。質問者から議員個々の意見を言ってほしいとあったが、終わった後に13人いたら2分ずつでも26分かかるので、半分にしたことでそれぞれ話す時間を多く割かないで済んだというメリットもあると説明した。個人的には了解してもらったと思う。

他の考え方はあるか。

加来議長：報告会后、議運の振り返りの時に現状のまま2班に分かれてやると協議したので、同じ方向で進めていく理由を話し合っしてほしい。

委員長：議長からの助言を含めて意見を聞く。意見がなければ、議長の説明どおり次年度以降もこの形で取り組むということでもよろしいか。

高橋委員：このまま載せると、「なぜ2つに分担してやるのか。13人全員そろって町民の意見を聞くことはできないのか」という設問に対して、「議員の意見が言いやすいように」という答えはおかしい。

この質問に対して、全員で皆さんの意見は共有するという答えが正しい気がする。会場での質問の意図は委員長が言ったとおりだと思うが、この質問だけを見るとこの答えだけではまずいと思う。

委員長：文書的な部分は検討する余地はある。ただ、基本的な考え方としては、前年度の中で時間が限られているので、その範囲内で全員となると時間的にも伸ばさなければならない。時間制限もひとつの要因として2班編成になった経過がある。もう少し設問の文書の示し方について考える。議運としての基本的な考え方は時間も含めて協議をした結果、班編成となった。

【休憩 10時39分】

【再開 10時42分】

委員長：15番目についての答弁は、班編成をした経過を説明し、理解しやすい文書表現にする。これでよろしいか。

(よろしいの声あり)

委員長：22番、「議員の質問が偏っていないか。質問が少なく個性が出ておらず、町長から何を引き出したのか見えない」ということで、答弁としては、1つ目は「1期目の議員の質問が多いので質問者は増えている。迫力がないと言われるが、執行側の答弁や質問する議員にもよる。今回出てきた意見は、議会運営委員会に持ち帰って検討する」、2つ目は「質問者は選挙後増えている。執行側か

らの提案の問題点を質疑などで明確にし、町長とやりあうことが目的ではなく、議員それぞれの立場で議員活動をしている」。

【休憩 10時44分】

【再開 10時53分】

委員長：どのようにまとめるか意見をもらいたい。

奥秋委員：議長が答えた内容でいい。

高橋委員：おおむね議長が答弁したとおりでいい。質問者の意図として、各議員の一般質問の内容と、もっとわかりやすいやり取りになるような一般質問の手法を今後考えていき、町民に伝わるような運営にしていきたいと付け加えればいいのでは。

委員長：今、高橋委員から質問の手法と出たが、議員の質問が悪いからとなってしまう。答弁のあり方もあるので、それらを踏まえた場合、余韻を残してしまうのではないか。それぞれの立場で議員活動をしているので、議長が日ごろから、お互いに資質向上のために自己研鑽をと言っているのに、ここまで書いてしまうと評価が違う。それは議員として肝に銘じていると思うので、それらを一つの手法として議長の立場での意見としていかがかと思うが。

高橋委員：よろしい。

委員長：22番については、議長の答弁でまとめる。

【休憩 10時57分】

【再開 11時08分】

委員長：24番、「12月に清水中学校3年生が傍聴に来た。中学校を卒業して3年後に選挙権を得るので、議会と教育委員会で連携して、いろいろな方策を教育の中で実践できるように期待している」、これに対し「いろいろと勉強していく」と、高橋委員長から答弁してもらった。この対応はどうするか。

高橋委員：この段階ではこれしか言いようがなかった。今回、参議院選挙があり、初めて18歳以上に選挙権があつた。実態がない町村での選挙権の話とインターネットで選挙権がない人が選挙運動をしたということも問題になっている。このことをもう少し精査した上で、これから選挙権を得る人たちに教育の中で知らしめるというのは、慎重にしていかなければならないという状況だと思う。すっきりとした回答は今は出せない。それらの状況を考えながら教育の中で実践できる形を模索していくべきというコメントをしていくしかない。

【休憩 11時13分】

【再開 11時21分】

委員長：24番について、意見を伺う。

安田委員：先ほど高橋委員が言われたことも必要と思うが、そこに行く前の段階で議会と教育委員会とで連携していくことがあるのではないか。

西山委員：安田委員の意見でいい。

委員長：中学生に対しての議会や選挙という部分で理解をしてもらうために、議会と教育委員会が連携し、一層中学生に関心を持ってもらえるように努める。そのために、総務文教委員会でも協議をするということでもとめるでよろしいか。

(よろしいの声あり)

委員長：25番、昨年の報告会である程度テーマを持ってという話があった。「テーマを絞った方が質問しやすく関心も高まるので検討してほしい」、答弁は「テーマについては、昨年も提案されていたので、議会運営委員会で協議した。今後も協議していく」となっている。これについて意見はあるか。特別委員会をつくったという部分とこの意見と関連してくる部分はあるか。議運でテーマをつくるということになると、活性化の部分が出てくる。この場で特別委員会と絡めるのは早いという意見であれば、議長の答弁でまとめる。

西山委員：特別委員会はまだいいと思う。議長が答弁したとおりでいいと思う。

委員長：議長の答弁のとおりでよろしいか。

(よろしいの声あり)

委員長：37番、「もう少し、フランクに話しができる会を望む」、これについては要望なので、聞き置くということになると思うがよろしいか。

(よろしいの声あり)

佐藤局長：37・38番もアンケートの中でこういった意見が出てきているので、回答は必要。

委員長：アンケートにも含まれているということなので、改めて協議をする。

安田委員：ある程度のルールの中で話し合いが進んでいったと思うので、あまりフランクにならない方がいい。

委員長：安田委員からの話で、議会報告会は議会でやっていることなので、ルールの中で行っているとの話があった。どこまでフランクにするかの判断は難しい。

西山委員：堅苦しいと感じているのでは、もう少し肩の力を抜いて話ができるような進め方にしてはどうか。

奥秋委員：議会報告会という形の中でルールに則っていくことが大事。町民は気楽に意見を出してもらえればと思う。

高橋委員：町民はどんなに小さな意見でも伝えたいということだと思う。答えとしては、「どんな小さな意見でも汲み取れるような環境を整えていきたい」でいいのでは。

委員長：議会報告会と意見交換会の2つのタイトルがある。議会報告会はルールがあるが、意見交換会はあまり制約しては意見が出ない。まとめとして、今後とも町民の意見・話し合いのしやすい場をつくるように心がけていくでよろしいか。

(よろしいの声あり)

委員長：議長、助言等あればお願いします。

加来議長：委員長のまとめのとおり、意見交換の中で高橋委員が言ったようないろんな意見に積極的に耳を傾けて、議論しやすい場をつくっていくということでもいいと思う。

委員長：38番、「ホームページでの委員会・全員協議会会議録の公開、議会報告会の掲載への速やかな対応について評価します。議会が何をやっているか、定期的に住民に説明する機会は重要で、一層の取り組み強化を期待しています」、これについて、意見を伺う。

高橋委員：褒めてもらっているので、現状に満足することなく、更に町民の皆さんへわかりやすく議会運営を伝えてまいりますでいいと思う。

委員長：高橋委員の意見をまとめとしてよろしいか。

(よろしいの声あり)

委員長：報告会の関係をいろいろと協議してもらったが、項目を挙げた以外で何か気づいた点があれば意見を出してほしい。

(なしの声あり)

### (3) その他

委員長：委員から何かあるか。

(なしの声あり)

委員長：事務局から何かあるか。

佐藤局長：もう1枚の資料の議長からの依頼のあった事項と「議会報告会と町民との意見交換会」についての全員協議会での反省・総括における意見についての協議は今日行わないのか。また、次回の日程について決めていただきたい。

委員長：もう1枚の方の資料については、次回協議する。次回はいつにするか。

佐藤局長：議会だよりの関係もあり、できれば8月1日をお願いしたい。

委員長：8月1日でよろしいか。

(よろしいの声あり)

委員長：日程調整をよろしくお願いします。

本日の議運をこれで閉じる。皆さんには報告会の部分を慎重に審議していただき、深くお礼を申し上げる。なお、次回の議会運営委員会は8月1日10時から予定しているので、よろしくお願いします。